

入選作品

小学生の部



令和3年度 家族川柳

お父さん
いつもおうえん
ありがとう
小学3年 男

これからも
家族みんなが
応援団
父

ギューをして
充電完了
よし！行くよ！
母

がんばるよ！
パワー全開
えがおでこー！！
小学4年 女

「ごめんさい
言える勇氣を
もってほしい
母
わかってる
だけどすなおに
なれなくて
小学3年 男

リバウンド！
館内とどろく
父の声
父
その声で
びっくりすぎて
キャッチミス
小学3年 女

朝おきて
げんかんにカニ
かわいいな
小学3年 男

ほんただね
カニも一緒に
ラジオ体操
母

テラスでで
ゆったり一息
家族時間
小学5年 女

今までは
無かった時間
大切に
母

ゲーム中
何度呼んたら
ふりむくの
母
ゲーム中
ぼくの耳は
日曜日
小学5年 男

おとうと
母のとりあい
いっぽんがち！
小学3年 女

きょうだいで
どっちがつかかな？
金メダル
母

あせきらり
キントレームの
パパとほく
小学3年 男

父として
カッコつけるも
肩をやる
父

歩く時
つなぐパパの手
あったかい
小学6年 女

いつでも
つないでいたい
手と心
父

宿題
するよするよと
いつやるの
母
いつやるの
あしたあしたと
ダイエツト
小学5年 男

こないでね！
おふろ一人で
入るから
小学5年 女

だんだんと
むすめのそんさい
とおくなる
父

お手伝い
たまには夕飯
おねがいね
母
わかったよ
ティクアウトを
ちゅうもんだ
小学3年 男

歯みがきを
ルンルンするよ
かがみみて
母
はみがきは
にがてだけでも
がんばるぞ
小学3年 女

支え合う
家族がいれば
無敵だね
小学6年 女

そのきすな
つらい時こそ
忘れずに
母

手をつなぐ
いつもと変わらぬ
あたたかさ
小学6年 女

あたたかさ
もらっているのは
母のほう
母

お父さん
畑仕事
お疲れ様
小学6年 女

夏野菜
いっぱい摂れたよ
腹いっぱい
父

あいさつで
笑顔がふえる
いい気持ち
小学4年 男

その声と
あなたの笑顔が
活力に
母

宿題を
するする詐欺は
困ります
母
宿題は
やりたければと
できません
小学4年 女

すこいだろ
ゲームの時の
集中力
小学2年 男

なぜかしら
母の声だけ
聞こえない
母

夏休み
体づくりに
ダイエツト
高校1年 女

それよりも
早寝早起き
朝ご飯
母

わかってる
受け止めるから
少しまって
高校1年 女

大好きよ
永遠続く
親の愛
母

中学生の部



ありがとう
いつか必ず
恩返し
小学1年 男

ありがとう
言える成長
満点です
母

両親の
野球の愛は
とくべつだ
小学2年 男

あなたへの
愛は直球
ストライク
母

母のしわ
怒られた分
ふえていく
小学2年 女

母のしわ
笑いじわも
あるんだよ
母

すこいだろ
ゲームの時の
集中力
小学2年 男

なぜかしら
母の声だけ
聞こえない
母

私かな？
写真が少し
古いけど
小学1年 女

私です
まちがえるほど
似ているね
母

勉強も
五輪と同じ
延期しよ
小学2年 男

勉強も
五輪と同じ
金目指せ！
母

夏休み
今年はずっかり
休めるぞ
小学2年 男

本当か？
宿題多そう
休めるの？
母

暑すぎて
勉強スィッチ
オフになる
高校1年 女

暑すぎて？
涼しくなれば
オンになる？
母

反抗し
素直になれず
「ごめんさい
小学2年 女

ドンと来い！！
お互い背中で
ありがとう
母

「ただいまで
今日の頑張り
伝わるよ
母
「おかえり」の
いつもの声に
ホッとする
小学1年 女

自分で家事
してみて分かる
母のすゝめ
小学1年 男

自分から
手伝ってくれる
君に感謝
母

おかえりと
笑顔でお迎え
ありがとう
小学3年 女

「飯何？
笑顔で帰宅
ひと安心
母

五輪観の
家族で応援
ワンチーム
小学3年 女

コロナ禍で
小さな茶の間が
スタジアム
小学3年 女

マスクでも
分かるよ気持ち
母だもの
母
家族には
気持ちは隠さず
伝えたい
高校3年 女

たくましい
腕で買い物
荷物もち
母
頼もしい
腕でお料理
台所
高校3年 男

いつまでも
長生きしてよ
おほあちゃん
小学1年 女

うれしいね
まがった腰が
ピンとなる
祖母

家中に
響きわたる
笑い声
小学3年 女

家の中
家族の笑いに
自肅いらん
母

夢を追う
僕に勇氣を
くれる母
小学3年 男

枝分かれ
迷いもあるが
真っ直ぐに
母

うまい飯
かくし味には
母の愛
小学3年 女

おしゃべりが
はすむ食卓
感無量
母

毎日の
「いつてらっしやい」
心の支え
高校2年 女

高校を
卒業しても
言っからね
母

みんなとは
違った道を
まわり道
母
いろいろと
あったけれども
今がいい
高校3年 女



- ・なつやすみ ソファーでごろごろ なにしよう 小学3年女 → 人型が もどらぬソファー どんだけおるん 父
- ・習い事 たくさんあってたいへんだ 小学3年女 → 将来の あなたは必ず 感謝する 母
- ・おとうさん いつもおしごと ありがとう 小学3年男 → 五代目よ わかる日が来る この気持ち 父
- ・魚つり なんか楽しい うれしいな 小学3年男 → サビキ釣り 孫の思い出 すずなりに 祖父
- ・お父さん せんたくきから なんの音 小学3年男 → まいったな けいたい電話 水びたし 父
- ・おかあさん いつも耳かき ありがとう 小学3年男 → ねる前の ルーティンいつまで できるだろう 母
- ・これからも たくさん手つだい がんばるね 小学3年女 → ありがとう あなたはちいさな おかあさん 母
- ・最近 覚えた英語 よく話す 父 → 一番の 好きな言葉は オーマイガ! 小学3年男
- ・夏休み 妹のせわ たいへんだ 小学3年女 → ありがとう 意外と役立つ ちびかあちゃん 母
- ・夜ごはん 家族といっしょに 作ろうよ 小学3年男 → 野菜切る 子の姿見て 汗にぎる 母
- ・姉なまけ 母におこられ おれわらう 小学3年男 → 俺うまい 母のにつこり ツボを知る 母
- ・オリンピック ぼくもしょう来 金メダル 小学3年男 → えっマジで!? やると決めたら 突き進め!! 父
- ・あついけど ママにべったり うれしいな 小学3年女 → べったりは うれしいけれど 冬にして 母
- ・よくにてる 国語と図工 好きなとこ 母 → よくにてる 算数と体育 苦手だよ 小学4年女
- ・ふざけても 実はずよれる お父さん 小学4年女 → まかせてよ こまったときだけ たすけるよ 父
- ・自分の気持ち 言葉にするの 上手だね 母 → 思ったこと 口に出さなきゃ だめだから 小学4年男
- ・弟の めんどく見るの 大へんだ 小学4年女 → 分かっている だけけどあなたが 頼りなの 母
- ・夏休み 遊びほうだい 楽しいな 小学4年女 → ウソでしょう? 宿題あるよ それが先 母
- ・夏休み いつも宿題 たいへんだ 小学4年女 → そうですね ガミガミ言うのも たいへんです 父
- ・やってみよう!! ピアノ教えて お母さん!! 小学5年女 → コロナ禍に 親子のふれあい 初連弾 母
- ・お母さん 漢検一緒に 頑張ろう 小学5年女 → 頑張ろう 二人一緒に 合格だ 母
- ・夏休み ボールをけて サッカーだ 小学5年男 → 自主練の 手本はいつも ユーチューブ 母
- ・たくさんね たよってばかり ありがとう 小学5年女 → 大丈夫! ささえてるから いつだって 母
- ・コロナでね みんなでお出かけ できないね 小学5年女 → コロナ禍で 自粛ばかり もう限界 父
- ・「ありがとう」言われてうれしい お手伝い! 小学5年女 → ふっふっふっ まんまと作戦 だまされた!! 母
- ・背くらべ もうすぐママを めかしそう 小学6年女 → だっこして 寝かせたあの日が なつかしい 母
- ・お母さん 無理せず私を たよってよ 小学6年女 → その言葉 元気の源 ありがとう 母
- ・いいにおい みそ汁の香で 目がさめる 小学6年女 → 母の味 いつか覚えて 作ってね 母
- ・これからも 家族みんなで 助け合おう 小学6年女 → ありがとう 家族みんなに 感謝状 母
- ・家の家事 大変だから 手伝うよ 小学6年女 → ありがとう おかげでやる気が でてくるよ 母
- ・宿題が なかなか終わらない 夏休み 小学6年男 → 毎年です 計画倒れの 夏休み 母



高校生の部



- ・コロナ禍で 三密さけて 部屋こもる 中学1年女 → 我が家には 密になる場所 ないけどね 母
- ・お母さん 何年先も 一緒だよ 中学1年女 → いつまでも 素てきな思い出 作ろうね 母
- ・たち切れない 家族のきずなを 永遠に 中学1年女 → けんかしても きらいと言っても 家族だよ 母
- ・あいさつは 明るく楽しく 自分から 中学1年女 → 朝起きて 元気にあいさつ 待ってるよ 母
- ・弾心会話 今日一日の バロメーター 母 → うまい飯 僕の機嫌の バロメーター 中学1年男
- ・「手伝ってえ」「は〜い」と返事だけは しいかんじ 母 → 返事して「あれ、なんだっけ?」もういいや 中学2年女
- ・ねえ、お願い 目標順位 越えたらさ? 中学2年女 → その言葉 毎回言ってる 何回目? 母
- ・皿洗い 流しっぱなし 水とぐち 父 → 父さんも 流しっぱなし 酒とぐち 中学2年男
- ・自粛にて 家族との時間 増えました 中学2年女 → あと少し パパとの時間も 増やしてね 父
- ・卵焼き 再現したいな 母の味 中学2年女 → 白だしと 母の愛情 かくし味 母
- ・反抗期 俺の心は 変異株 中学3年男 → 大丈夫 姉で抗体 取得済み 母
- ・長期間 反抗期の付き合い ありがとう 中学3年女 → 次からは 私の番です 更年期 母
- ・受験時期 不安がたくさん どうしよう 中学3年女 → 大丈夫 何があっても 支えるよ 母
- ・家族との 何気ない日々が たからもの 中学3年女 → いつまでも 大事にしたい この時間 母
- ・受験生 運動も会話も 不足する 中学3年女 → 朝夕の すきま時間で がんばろう 母

- ・誰よりも 母の背を見て 夢をもつ 高校1年女 → 親を越え 高く翔ぶ娘に 夢託す 母
- ・家帰り「ただいま」の前に「ごはん何?」 高校1年女 → 無いよりも 有ると安心 食欲よ!! 母
- ・これからも 相談相手 よろしくね 高校1年女 → こちらこそ 話相手 よろしくね 母
- ・猛暑日の 野球の練習 熱くなる 高校1年男 → ユニホーム 汚れのあとが 努力のあと 母
- ・一番の 味方であるよ いつまでも 父母 → 知ってるよ その言葉に 救われた 高校1年男
- ・もう少し 親の言葉に 聞く耳を... 父 → 分かっている 素直じゃないの 悪い癖 高校2年女
- ・お父さん なんてそんなに しゅみ多い 高校2年男 → ときめきと 新たな発見 出会えるぞ 父
- ・コロナ禍で なかなか見れぬ 孫の顔 祖父 → この時代 いつでも見れる リモートなら 高校3年男
- ・来年は 夢に向かって 旅に出る 高校3年女 → 娘の夢 電話を通じて 見守るよ 母
- ・巣立つ君 共に過ごす今 心に刻む 母 → 巣立っても 母は心の 拠り所 高校3年女

羽咋市教育委員会と羽咋市家庭教育推進協議会、羽咋市少年育成センターでは、家庭での豊かな会話と子どもの健やかな成長を願い、「家族川柳」と題し、「子の句（初句）」とそれに返事を返す「親の句（返句）」を一組とする川柳を募集しました。川柳は、5・7・5の17文字の短い言葉で表現します。俳句と違い、季節などを入れる制約もありません。子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で素直に表現することで、自分の気持ちを伝えたり、お互いの気持ちを理解したり、家族のふれあいを深める目的で実施しました。

これは、たくさんの方の応募作品の中から入選作品・準入選作品をまとめたものです。どれもユーモアのある心温まる作品ばかりです。ぜひ一読ください。

〔応募人数〕小学生 343人、中学生 422人、高校生 376人（計）1,141人
 〔入選人数〕各学年 4~8人（高校生については、2~3年生の合同）（計）45人
 〔準入選人数〕各学年 5~13人（高校生については、2~4年生の合同）（計）56人

